

Press Release

2023年1月19日

温室効果ガス排出量削減目標を改定し SBT(Science Based Targets)イニシアチブの承認を取得

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、温室効果ガスの排出削減目標を改定し、SBT(Science Based Targets)イニシアチブ *1 から承認を取得しました。これは、パリ協定における「1.5°C 目標」および「wellbelow 2°C 目標(2°C を十分下回る目標)」を達成するための科学的根拠に基づいた目標であると認められたものです。

アステラス製薬は、<u>経営計画 2021</u>で「サステナビリティ向上の取り組みを強化」を戦略 目標の一つに掲げており、「環境(気候変動対策)」に優先的に取り組んでいます。

今回の承認取得にあたり、代表取締役社長 CEO の安川健司は、「社会とアステラス製薬が持続的に成長し続けるため、気候変動対策は重要な課題の一つです。今回新たに設定した温室効果ガス排出量削減目標の達成に向け、全社を挙げて取り組みを進めていきます」と述べています。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

■温室効果ガス排出量削減目標(改定後)

温室効果ガスの排出量(スコープ 1+2*2)「1.5°C 目標」:

2030 年度までに 63%削減する(基準年: 2015 年度)

温室効果ガスの排出量(スコープ 3*2)「well-below 2°C 目標」:

2030 年度までに 37.5%削減する(基準年:2015 年度)

アステラス製薬の環境に対する具体的な取り組みについては、こちらをご覧ください。

アステラス製薬は、ESG[環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)]を考慮しつつ社会および 当社の持続可能性をともに向上させていくという基本方針のもと、サステナビリティ活動の 一層の推進と情報開示の拡充に引き続き取り組んでいきます。

以上

*1 SBT イニシアチブ: 気候変動に対する企業による意欲的なアクションの推進のための、国連グローバル・コンパクト、CDP(気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体)、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)による共同イニシアチブ。企業が科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標を設定するよう働きかけ、審査・認定を行っている。

*2 スコープ: 温室効果ガスの排出量の算定範囲

スコープ 1: 自社で使用した燃料に伴う温室効果ガスの直接排出

スコープ 2: 購入した電力の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

スコープ 3: 原材料調達や製品使用など、サプライチェーンでの温室効果ガスの排出

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(https://www.astellas.com/jp/)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

コーポレートアドボカシー&リレーションズ部

TEL: 03-3244-3201